

黄化葉巻病耐病性・単為結果性ミニトマト

※単為結果性の本品種はホルモン剤やハチが不要

かむり

品種登録出願名称 ET-1807



ハタまで美しいミニトマト



公益財団法人
園芸植物育種研究所
Institute for Horticultural Plant Breeding

〒270-2221 千葉県松戸市紙敷2-5-1
TEL.047-387-3827 FAX.047-386-1455

黄化葉巻病耐病性・単為結果性ミニトマト

かむり

品種登録出願名称 ET-1807



※単為結果性とは

受粉やホルモン処理をしなくても着果・果実肥大する性質(自然着果)のことです。
ホルモン処理やマルハナバチを利用する必要がないため、労力・経費の削減につながります。

<耐病性>

TYLSCV	ToMV	萎凋病	根腐萎凋病	半身萎凋病	斑点病	葉かび病	青枯病	褐色根腐病	かいよう病	根こぶ線虫
Ty-3a	Tm-2 ^a	F:R-1,2	-	V:R-1	LS	Cf-9	-	-	-	N

接ぎ木をする場合は、Tm-2 またはTm-2^aの台木を選んでください

<品種特性>

- ・単為結果性(高温・低温でも安定して着果)
- ・ヘタが肉厚で収穫後の巻き上がりが少ない
- ・草勢は中程度，葉は小葉で節間は短い
- ・果実色は，明るい赤色(収穫のタイミングに留意)
- ・糖・酸のバランスがよく良食味
- ・裂果の発生は少ない
- ・極早生(生育の進みや果実の色まわりが早い)

【園研品種‘べにすずめ’と比較して】

- ・一果房内での果実の揃いが良い
- ・初期の果房はシングルになることが多い



<標準施肥量> 【成分量 kg/10a】

N=10~12

P₂O₅=30~40

K₂O=15~20

<栽培適期表>

関東地方標準作型

栽培される地域の目安としてご利用ください。

作型	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
促成								●	○			
半促成									●	○		
雨よけ (家庭菜園)			●	○	●	○						
ハウス抑制 (越冬栽培含む)					●	○	●	○				

● 播種 ○ 定植 ■ 収穫



公益財団法人
園芸植物育種研究所
Institute for Horticultural Plant Breeding

〒270-2221

千葉県松戸市紙敷2-5-1

TEL.047-387-3827 FAX.047-386-1455

